

平成28年度行政評価シート【個表】

平成 28 年 6 月 30 日

評価対象事業		評価者	都市整備総務課長 関 淳一	
都整-01 土木管理運営事務		<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務	主管課 都市整備総務課 関連課 道水路管理課、道路課、公園課、下水道河川課ほか	
総合計画上の位置付け	分野	行財政運営	施策の方針	行財政運営

1 事業の目的

対象	部内各課
意図	事務事業の円滑な執行を行うため。
効果	事務事業の進行管理及び連絡調整を行うことにより、安全で快適な生活環境の整備を図る。

2 平成27年度に実施した事業の概要

部内の一般会計に係る予算要求、執行管理、決算・監査に関する事項を行った。 旅費及び郵便料の執行管理、工事の進行管理など部内の庶務を行った。 鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の策定を行った。

3 事業費等基礎データ

データ区分	26年度決算		27年度決算		データ区分	28年度当初予算		備 考
	人 口	世 帯 数	人 口	世 帯 数		人 口	世 帯 数	
人口等のデータ	177,464人	80,368世帯	177,243人	80,676世帯	176,869人	80,928世帯		・各年3月31日 (住民基本台帳)
事業の対象者数								
運営資源状況	決算値(千円)	20,778	28,463	28,463	当初予算(千円)	15,311		
	国県支出金				国県支出金			
	地方債				地方債			
	その他				その他			
	一般財源	20,778	28,463	28,463	一般財源	15,311		
事業経費運営	人員配置数	4.0	5.0	5.0	人員配置数	4.0		
	人件費(千円)	32,911	40,007	40,007	人件費(千円)	31,768		
	総事業費(千円)	53,689	68,470	68,470	総事業費(千円)	47,079		
	市民1人当りの経費(円)	303	386	386	市民1人当りの経費(円)	266		
	対象者1人当りの経費(円)				対象者1人当りの経費(円)			

4 評価結果

※「効率性」「妥当性」「有効性」「公平性」「協働」については、プルダウンで選択。

効 率 性	事業費に削減余地はないか	2. ない
	関連・類似事業との統合はできないか	3. 統合できない
妥 当 性	事業の実施に対する市民ニーズはあるか	3. 変わらずにある
	事業の廃止・休止による市民生活への影響は大きい	3. 廃止・休止による影響は大きくある
	今後も市が実施すべき事業か	5. 豊かな市民生活に寄与することから、今後も市が実施する必要がある
有 効 性	事業の成果は得られているか	3. 十分な成果が出ている
	事業の上位施策に向けた貢献度は大きい	4. 事業の方向性や手法も適切であり、大きく貢献している
公 平 性	受益者負担は公正・公平か	△-3. 受益者が特定できないため、受益者負担を求めることができない
協 働	市民等と協働して事業を展開しているか	△-2. 市民等と協働して事業を実施することはできない
		協働実施済の場合のパートナー

事業内容の方向性	<input type="checkbox"/> a: 事業内容を見直す → <input checked="" type="checkbox"/> b: 事業内容は現状通りとする <input type="checkbox"/> c: 事業を休止又は廃止する <input type="checkbox"/> d: 他事業と統合し、本事業は廃止する →	見直しの種類	<input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他	見直しの内容	
					事業へ統合

予算規模の方向性	<input type="checkbox"/> A: 予算規模を拡大する <input checked="" type="checkbox"/> B: 予算規模は現状維持とする <input type="checkbox"/> C: 予算規模を縮小する	事業内容・予算規模の方向性設定の理由	平成27年度は、鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画を策定した。平成28年度は、マネジメント計画のリーディングプロジェクトで掲げた各事業を、平成29年度から具体化するための準備を進める。
----------	---	--------------------	--

総評(評価に対する考え方、根拠等)	事業費は、マネジメント計画を推進するための委託料が大きな部分を占め、そのほかは部内で必要とする消耗品等であるため事業費の削減は難しい。 関連・類似事項がないので、統合は難しい。 平成28年度の委託事業は、平成27年度に策定した鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画の中のリーディングプロジェクトで掲げた各事業を平成29年度から具体化を図るための準備を進めようとするものであり、本市が保有する全てのインフラを「市民の安全で安心を守り、市民生活を支え続ける」ための重要な施策を推進する事業として内容は妥当であり、有効性は4とした。今後、事業の着実な推進を図る。
-------------------	--

平成27年度事業実施にあたっての課題 (前年度未解決の事項を含む)	本市のインフラが直面する現状や課題を踏まえると、インフラの必要性や管理方法、財源投入のあり方などを根本から見直し、計画的かつ効率的な維持管理・補修更新・施設運営を行うことにより、財政負担の抑制と平準化を図り、将来にわたり本市が保有する全てのインフラを「市民の安全で安心を守り、市民生活を支え続ける」ことを目指す必要がある。	
課題解決のために行った平成27年度の取組	本市が保有する全てのインフラが、将来にわたって「市民の安全で安心を守り、市民生活を支え続ける」ことを目指して鎌倉市社会基盤施設マネジメント計画を策定した。	<input checked="" type="checkbox"/> 解決 <input type="checkbox"/> 一部解決 <input type="checkbox"/> 未解決
未解決の課題、新たな課題とその理由	インフラのマネジメントの実現には、全体責任者のリーダーシップのもと具体的な手順・方策を見定め、実施に移す必要がある。また、点検・調査によって各施設の状態を正確に把握し、その結果を共有化できるようにデータベース化する必要がある。	

○ 他市比較・ベンチマーク(県内外自治体など他自治体や民間団体との比較値)

比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
比較事項									
団体名	鎌倉市								
他市実績									
当該事業実施に伴う他市比較に関する考え方									

◎ 事業実施に係る指標

指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
指標の内容		単位		指標の傾向		備考	
当該指標を設定した理由	年次	H26	H27	H28	H29	H30	H31
	目標値						
	実績値						
	達成率						
当該事業実施に伴う指標の推移に関する考え方							

● 事業に関する特記事項

<input checked="" type="checkbox"/> 第3期基本計画前期実施計画重点事業	<input type="checkbox"/> 19節で予算措置している補助金が含まれる事業
---	---